

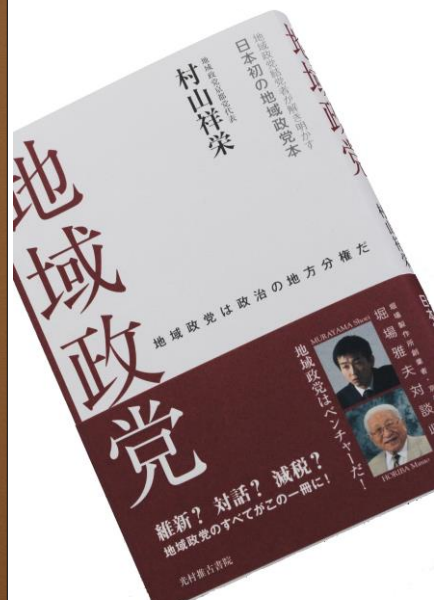
京都市会議員・地域政党京都党代表

村山祥栄

京都院

KYOTO PARTY
地域政党

後援会瓦版38号



名古屋、大阪、滋賀…ことごとく地域政党ブームで湧いた地域政党が国政進出。確かにそんな選択肢もなきにしもあらずだが、まずは地元をしっかりとやるのが地域政党。誤った地域政党の概念が広がる中、「地域政党は国政の踏み台とちゃうで！」ということで、地域政党をまじめに論じた書籍が出版されました。京都発で全国に地域政党を根付かせることを我が使命と信じて引き続き頑張りたいと存じます。

堀場製作所創業者
堀場雅夫氏対談収録
価格1680円 光村推古書院
■書店、ネットで好評発売中
■サイン本ご希望の方は村山事務所(712-9962)まで。



特集 独自調査結果報告

バスは本当に遅いのか？

市民の大切な足として活躍する市バスだが、なかなかお客さんが増えない。これまで、市民がバスに乗って頂けないのは、**時間通りにバスが来ない**からだと言われてきた。しかし、近年、努力の結果、かなりダイヤ通りにバスが到着するようになったのだが、客は増えていない。なぜなのか。研究を進めるうちに、ひとつの答えが世界最先端のトラム都市ストラスブル(仏)にあった。そこでは、「定時制の確保」ではなく、「走行スピードの向上」に向けた飽くなき挑戦が繰り返されていた。「車より早くなければ公共交通に乗らない」と断言するのはストラスブルの交通局長だ。目標速度は20キロ。事実、現地のトラムは車速21キロ。ちなみに京都市バスは平均車速13キロだ。

当たり前のように、私の知る限り京都市ではこの様な議論をしたことがない。「バスは遅いもの」と決め付け、だから路面電車なのだという声が後を絶たない。逆に言えば、バスが早く走れば、路面電車は不要になる。**本当にバスは早く走れないのか？**今回はこの単純な疑問からバスのあり方を再検討する為の走行環境調査に乗り出した。

●「なぜ、バスは遅いのか？」
今回、約30時間を掛け、バスの抜き打ち走行調査を実施した。その結果、分析すると、総運行時間のうち、走行時間は60%、信号待ち25%、バス停の停車が15%、車線変更ロス0%という結果だった。つまり、これまで、全力を傾注し進め

てきた車線変更ロスを減らす取り組み（バス専用レーンの確保と路上駐車との締め出し）よりも、**信号対策とバス停停車時間の短縮が課題**であるというこれまでの概念を覆す結果となった。またバス停停車中は、乗降に掛かる時間が84%を占め、**乗降時間の短縮が鍵**だった。確かにストラスブルでは、乗降時間の短縮に総力を挙げており、現地調査の結果では、停車時間は概ね20秒程度だった。

そこで、これらの改題解決に向けた対策を議会で提案した。

まず信号対策として、バスの優先信号をはじめとする交通体系の再構築、降車対策としては、降車時に両替などで時間が掛かる後払い方式から前払い方式への移行、それに伴う均一料金化の検討などを提案した。均一料金化は一時的な損失が発生するが、複雑な段階的料金から開放され、スムーズな運行に繋がれば乗客が増えるはずだ。

さらに、乗車対策としては常に同時に3人が乗降可能な大きな乗降口を備えたバスを今後の買い替えには検討されたいと付け加えておいた。

●早発チェック調査

次に時刻表よりも早く出発する「早発」のチェックも実施したが、こちらはバス停停車回数は781回に対し、2分以上の早発が二件と達成率は99.7%と概ね合格だった。

●走行環境チェック調査

最後に乗客に対しての暴言、急ブレーキ急発進などの危険運転などの調査も実施。一路線で問題運転が見受けられるので厳しく指摘をしておいた。

二重行政を廃止せよ！消防学校版

南区には京都市消防学校、伏見には京都府消防学校がある。目的は共に消防士を育成すること。違いは市内の消防士か京都市以外の府下の消防士かという違いだけだ。大体、府下の消防署員数の半分以上は京都市消防局である。これこそ、二重行政の典型事例ではないか。

かつては、府下の職員全てを京都市が受け入れ教育してきたが、行政は肥大化する。昭和51年分離され二重行政が始まった。調べたところ、京都市消防学校の稼働率は50%以下、十分府の生徒を受け入れる事は可能だ。勿論受け入れれば府下の市町村から負担金は頂くので、京都市民の負担は減る、府下の隊員は最新式の施設で学べ、いいこと尽くめだ。

これから京都府では億単位の税金を投入して建て替え工事を行う。建て替えが終わってからでは遅い。今こそ、二重行政解消に向け、一刻も早い取り組みが望まれる。

大企業は例外扱いの景観条例！

このたび中京区に新設する大手の工場に対し、景観条例に基づく高さ制限を大幅に緩和し、例外扱いで31Mのビルを建設する地区計画が条例化された。このエリアはそれほど厳しい高さ規制が必要ないため、京都党はこの地区の規制緩和自体に賛成なので議案には賛成だ。しかし、法の網を特例措置として破る行為は由々しきことだ。これまで市民を泣かしても、景観だと言い続けてきたことが、大企業が言えば認められるのか。市長は今後も例外を認めると広言して憚らない。そもそも、規制する必要のないところまで規制してしまったことが透けて見える。こんなふざけたルールがまかり通っていいわけがないと思う。

村山祥栄現場立ち入り調査！

計量検査所とは？

病院、スーパー、郵便局など測定や商取引などに使われる計量器が正しく使われているかをチェックする機関、計量検査所なる施設があるのをご存知だろうか。お買い物の際に目方を誤魔化す商売人が後を絶たなかった明治時代に出来た法律に従って運営されているが、法律が出来た明治時代ならいざしらず、全く時代錯誤な制度だ。しかもこの検査は二年に一度受けないと計量器が使用できなくなる。即刻廃止！といたいところだが、国の制度で京都市が強制的に業務を請け負わされている。無駄な税金には違いないが、問題はそれに留まらない。この検査は国から委託され京都市がやらなければならない。自治事務へ移管された平成12年以降、その分のお金が下りてきているかすら怪しい。このあたりはお隣の市長を見習って国に文句を言ってもらいたいものだ。しかも、全く同じ業務を、同じ建物のお隣の部屋で京都府も独自に行っている。典型的な二重行政だ。二重行政解消は早々に取り組むべきだが、とっとと抜き打ち検査・通報制度へ切り替えるべきだと私は主張している。皆さんどう思いますか？

全国屈指の設備を誇る京都市消防学校▼



▲老朽化進む京都府消防学校

集え！地域の原動力！ 京都党村山祥栄政治塾始動！

より良き京都を求める同志、地域政党を実現を目指す同志を塾生とし、真の地方に根ざした地域の原動力が集い、明日の地方を作っていきたいと思えます。講師陣は、村山祥栄が今最も話を聞きたい方々をセレクト、直談判で講師をお願いしてお招きしています。純粋に地方自治を学びたい方々向けに、全ての政策講座に出席頂ける聴講生も用意しました。詳細は京都党HPをご覧ください。



村山祥栄友の会会員募集

会員証の発行や市政の今を綴った機関紙「京都再生」（年4回・8P）の郵送を通じ、継続的に村山祥栄の政治活動にご理解賜りご支援頂ける会員を募集しております。宜しく願います。



年会費 一口3000円
その他、カンパも承っております。
友の会・カンパ振込先：
郵便振替00970-2-181324
名義 村山祥栄政策フォーラム

マニフェスト大賞優秀賞受賞

11月、マニフェスト大賞（主催：マニフェスト大賞実行委員会 / 共催：早稲田大学マニフェスト研究所 毎日新聞社）地方議会部門で京都党のマニフェストが優秀賞を頂きました。前回の統一地方選挙でのマニフェストをご評価頂いての受賞でした。主張の正当性はお墨付きを頂きましたが、問題は、その実現です。引き続き全力で頑張ります。

続 技能労務職採用再開か？

ごみ収集職員をはじめとする現業職は「民間に出来る事は民間に」を掛け声に既に採用を廃止していたが、一昨年突如再開した。京都党はこれまでから条例を出すなど激しく抵抗。10月議会、我会派から改めて確認したところ、「昨年の採用はよい判断、引き続き採用したい」との旨を報告。これには、京都党のみならず、自民・公明からも激しい批判が相次いだ。議会の合意が済むまで絶対に採用しないことを言及させた上で、抵抗勢力となっている労働組合の参考人招致と委員会での実地調査を提案した。いずれにせよ、なし崩し的な組合偏重の採用を断固として阻止するべく自民、公明各会派と共に引き続き取り組みたい。

各種お問い合わせ先 村山祥栄事務所 電話075-712-9962 FAX712-9963

村山 祥栄(むらやましょうえい)経歴

- 昭53年2月7日生 下鴨在住
- 衆院議員秘書、㈱リクルート勤務
- 地域政党京都党代表
- 元京都産業大学法学部講師
- 下鴨小、東山中、東山高、専修大学法学部卒
- 25歳最年少で市会議員初当選以来、現在3期目。
- 政治姿勢：本来あるべき姿に正す「原点回帰」
- 著書：京都・同和「裏」行政（講談社+α文庫）